

寺尾天台自治会第四区だより



～区民の交流、地域の備え、将来への継続～

第5号
発行日:令和5年1月1日
編集・構成:広報委員会

寺尾天台



区民の皆様、令和4年4月に3期目を担わせて頂いております区長の中原です。区民の皆様には日頃より自治会活動にご理解、お力添えをいただき役員を代表いたしまして心より感謝申し上げます。禍福は糾える縄の如し、寺尾天台自治会第四区この一年を振り返ると、令和3年の暮れから再び「新型コロナウイルス」が猛威をふるいはじめ、年明けからの事業、令和4年度事業につきましても大変危惧し、少しずつですが事業を再開することができました。

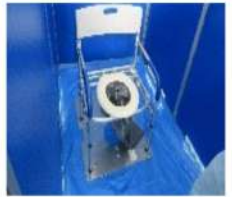
「新型コロナウイルス感染予防対策」をとりながら規模を縮小しておこないました1月のどんど焼き、令和4年度に入り綾瀬市主催「春の美化キャンペーン」から少しずつですが自粛ムードから開催にむけ動き始めました。残念ながら自治会行事の5月春季レクリエーション大会、9月自主防災訓練につきましては、感染拡大が懸念されるため中止となりました。安全を配慮しながら四区事業の発展的継続を図る為、大変重い決断をした「四区夏祭り盆踊り大会」があります。様々なご意見をいただきながら、開催に向けて、組長会議のご賛同と各関係者皆様方のご協力により多くの区民の参加をいただき、無事に終了した事に感謝申し上げます。また、長寿高齢化社会を迎える四区でも敬老会事業の一部を変更させていただき、記念品贈呈の長寿のお祝いといたしました。令和5年度より対象者を80歳以上の方を対象とさせていただきます。今年度も役員一同しっかり取り組んでまいります。



備

～関東大震災から99年。過去の大災害を教訓とし、今後の防災対策への備えを～

大正12年9月1日は土曜日でした。当時の綾瀬村は朝から大雨でしたが、午前10時頃から急に晴れて蒸し暑い日だったそうです。当時の尋常小学校の子供だった人々の証言から、その頃の農家ではほとんどが午前11時頃に昼食をすませていて、食後に家の中で遊んだりしていたところ、正午前に「ドーン」と音がして、そのうち「ドロドロ」「ガタガタ」という地鳴りとともに激しい揺れが来たそうです。外に出ても立っていられず四つんばいになり、牛舎では牛が転がっていたそうです。当時の綾瀬村924戸の内全壊家屋463戸、人口6068人の内死者16名、負傷者58名との記録が残っています。(参考文庫:「関東大震災体験記」昭和62年9月1日 綾瀬市長 鈴木 進より)



令和4年9月4日(日)午前8時半から一次避難所である天台小学校において、綾瀬市総合防災訓練がありました。市内最大震度7を想定して避難所開設、初動対応訓練や感染症対策訓練をおこない、体育館内において仮設ベッドや仮設トイレ等の組み立て、外ではマンホールトイレの設置場所等の確認をおこないました。今回の体験を鑑みて、このような設営をおこなう事態に遭遇しないよう願うばかりでしたが、やはり、身の回りの備えや災害対応へのこころがけを普段からしっかりとっておきたいと痛感した次第です。

～四区の地域活動を知り、コロナ感染処対策を行い地域交流を楽しみます～



知 楽



どんど焼き 1月



寺尾天台自治会総会 4月



美化キャンペーン 5月



組長会議 6月



夏祭り盆踊り大会 7月



集会所 裏山草刈り 8月



綾瀬市防災訓練 9月



秋のレクリエーション大会 10月



美化キャンペーン 10月



ゴミ箱ネットの張替・交換



資源回収プレート収納箱設置



ゴミ捨てマナー違反!



伝

～身近な情報をホームページや動画で伝えます～



四区ホームページは試行も含め、約5年が経過し、通常の見返板と併用し、月ごとのお知らせとイベント告知等のweb見返板を発信しています。他の自治会からのお問合せや綾瀬市内以外や外国からも多くのアクセスと訪問者を数えています。YouTube動画も活用し、情報をお伝えしていきます。

現在、ホームページ作成や広報にご興味のある方を募集しております。パソコンの操作からホームページの作り方、動画編集に興味のある方は役員までご連絡下さい。

編集後記



今年も新型コロナウイルス感染症予防対策いつになったら終わるのでしょうか。

2023年は癸卯、兎は跳ね景気に活気が戻ることを願うばかりです。

広報委員長 永田

- 春季レクリエーション大会
- 春の美化キャンペーン
- 夏祭り盆踊り大会
- 敬老会(記念品のみ配布)
- 秋季レクリエーション大会
- 子ども神輿
- 秋の美化キャンペーン 開催予定
- 1月8日(予定) どんど焼き